

第4回夢洲まちづくり構想検討会 開催概要

1 日 時

平成29年2月6日（月曜日） 13:00～14:00

2 場 所

大阪市役所 7階 市会第4委員会室

3 出 席 者

公益社団法人関西経済連合会専務理事	松村孝夫
一般社団法人関西経済同友会常任幹事・事務局長	齊藤行巨
大阪商工会議所専務理事	宮城 勉
大阪府府民文化部長	岡本圭司
大阪府商工労働部（※代理）	北尾保己
大阪府政策企画部（※代理）	吉田真治
大阪府都市整備部（※代理）	井出仁雄
大阪府住宅まちづくり部（※代理）	芝池利尚
大阪市副市長	田中清剛
大阪市経済戦略局長	井上雅之
大阪市都市計画局長	川田 均
大阪市港湾局長	藪内 弘
大阪市建設局長	永井文博

4 議 題

夢洲まちづくり構想（案）とりまとめ

5 議事要旨

- ・当検討会として「夢洲まちづくり構想（案）」を取りまとめ、今後の夢洲まちづくりの推進にあたり意見をいただいた。主な意見は以下のとおり。
- ① 夢洲を将来にわたり、持続的ににぎわう国際観光拠点とすることは、大阪・関西の成長・発展にとって必要なこと。
- ② 夢洲まちづくり構想（案）は、夢洲のまちづくりの大きな方向性を示し、関係者間で合意・共有する大事なステップの1つと考えている。
- ③ 夢洲まちづくり構想（案）は、今回の検討会をもって取りまとめを行ったが、IR 実施法や万博の動きもみながら構想の具体化に向けた検討が必要である。
- ④ IR については、様々な意見や懸念がある。大阪でも懸念を払しょくする議論が大切である。市民にも広く広報することが必要である。
- ⑤ 万博を一過性のイベントにしないよう、将来のまちづくりにつなげることが非常に重要である。
- ⑥ 夢洲のような大規模開発にあたっては、公・民挙げて取り組む必要がある。